

# 令和6年度 第1回岡崎市農業振興ビジョン推進委員会 会議録

## 1 開催日時

令和6年10月25日（金） 15:00～16:15

## 2 開催場所

岡崎市役所西庁舎 7階702号室

## 3 出席者

### (1) 会長

藤井芳一

### (2) 職務代理人

羽根田正志

### (3) 委員

大竹博久、倉橋勲、栗田なおみ、加藤智子、太田立身、笹竹恵子

### (4) 事務局

経済振興部長：鈴木洋人

経済振興部農地整備課長：浅井隆

経済振興部中山間政策課副課長：畔柳典生

経済振興部農務課長：小林哲夫

経済振興部農務課副課長：勝瀬仁巳

経済振興部農務課農政係：木村理恵、杉浦一子

## 4 傍聴者

なし

## 5 自己紹介

新委員の加藤委員から自己紹介

## 6 会議次第

### 議題

1 岡崎市有機農業実施計画～オーガニックシティおかざきプラン～アクションプラン  
骨子（案）について

2 岡崎市農業振興ビジョン2030（農業振興計画・都市農業振興計画）アクションプラン  
について

## 7 議事要旨

### 議題

1 岡崎市有機農業実施計画～オーガニックシティおかざきプラン～アクションプラン

骨子（案）について

岡崎市有機農業実施計画～オーガニックシティおかざきプラン～アクションプラン  
骨子（案）について、事務局から説明。

【各委員の主な意見・質疑】

○太田委員

今回の骨子（案）の表内の数値について、具体的根拠説明を記す必要がある。  
（事務局）具体的根拠説明を記すように対応する。

○加藤委員

アイガモロボットの効果はどうか。  
（事務局）効果としては、全面的に効果があったとは言えないが、一部で効果はあった。GPS を利用しながら作動するロボットであるが、中山間地域で実証したため、山の谷間で電波が届かず上手く作動しない圃場があった。

○栗田委員

アイガモロボットの費用対効果としてはどうか。  
（事務局）アイガモロボットは人の代わりとなっており、費用は人件費に値する。  
また除草剤を使用しない農業を目指して、アイガモロボットを導入している。有機米として付加価値をつけることもでき、費用対効果として、一概に値を出すことは難しい。

○大竹委員

有機肥料を推進するにあたって、土壌改良を含めて、雑草を燃やして灰を利用することはどう考えるか。

（事務局）雑草を燃やすことについて、現在検討をしている状況である。雑草を燃やすことを、消防署に確認もしたところ、農業にかかることについては、事前に消防署へ届け出をし、また消火の準備もした上でなら、不可ではないとのことであった。地域ぐるみで、農家以外の方にも合意を得たうえで行う相談があれば、相談にのっていききたい。

○大竹委員

みえるらべるは、どのようなものか

（事務局）農林水産省で「みどりの食料システム戦略」に基づいて環境負荷低減の取り組みとして行っているものであり、算定シートに農薬の使用量や肥料の使用量を入力し、申請するものである。星の数が多いほど環境負荷の取り組みの多さを表している。市で取得する経営体が増えるように声掛けをしていきたい。

○藤井会長

みえるらべるを、市独自の厳しい基準でも作ることも興味深いと思われる。消費者にとって岡崎市も認めた、より環境負荷低減に取り組んでいるものであるとなると更に付加価値も高くなるかと考える。

○藤井会長

骨子（案）の数値表について、説明文と表の内容で、直接的な意味合いが不足す

るところが2箇所ある。数値表の追加や修正を検討してもよいと思われる。

(事務局) ご指摘いただいた箇所について検討し、第2回農業振興ビジョン推進委員会で岡崎市有機農業実施計画アクションプランのご審議をお願いしたい。本会議としては、その骨子作成の概ねの方向をご承認お願いできればと考える

一部表記の修正を含み、原案どおり委員会として承認。(全委員承認)

## 2 岡崎市農業振興ビジョン 2030 (農業振興計画・都市農業振興計画) アクションプランについて

岡崎市農業振興ビジョン 2030 (農業振興計画・都市農業振興計画) アクションプランについて、事務局から説明

### 【各委員の主な意見・質疑】

#### ○加藤委員

様々な業務があり、農業の幅広さや取り組みが必要な項目の多さを実感する。

#### ○藤井会長

気象変動に対してどのように適応するかというのは、適応法という別の法もあるくらいである。農業が年々気象変動でダメージを受けている中、気象変動に強い作物をどのように作っていくか、また防御していくかを踏まえた食料安全保障という意味合いだと思われる。化学肥料や農薬に頼っていて、それありきの農業をやっていたからこそ、農作物自身の弱さがあるかもしれない。自然界の中での有機物が分解されて育っていく本来の能力を呼び起こそうということ等の方向性でいくと有機農業にも結び付くかと思われる。

#### ○加藤委員

おかざき農業応援応援チケットについては、普段産直に足を運ばない人にも産直施設を知ってもらう良い機会となった。精米したてのお米のおいしさも知ってほしい。また産直施設へのリピーターも増えたと思われる。

#### ○栗田委員

おこめ券については、必要な人だけでも良かったのではないかと。必要な人に配布をしてもらってでも良い。

#### ○笹竹委員

おこめ券について、近隣の方の意見では、880円を切りよく1,000円にした方が良いのでは、また使用期限をつけたものを配布した方が良かったのでは、という内容もあった。また、最初おこめ券は、お米しか買えないと思っていたが、説明書を読むと他にも使えたとあり、農業応援チケットの方がシンプルでわかりやすかった。

#### ○藤井会長

おかざき農業応援応援チケット等について、配布によりどれだけ売り上げが上がったか、またリピーターが増えたことがどれだけ持続しているか等、ある意味社

会実験的なことを岡崎市がやっているようにも感じた。その後を追跡していただければ、こういったものをどれくらいの価格で、期限有り無しも含めて配るとどれほど効果的なのか等を調べると今後の施策に役立つと思われる。

(事務局) 様々なご意見について、是非今後の参考にさせていただきたい。

原案どおり委員会として承認。(全委員承認)

### 3 その他

岡崎市農林業祭及びスタンプラリーの開催について、事務局から説明

終了を宣言。